

サイエンス・アドベンチャー

東京大学および日本科学未来館の施設を見学し、研究されている先生や大学院生の方々との交流を行うとともに、研究やプレゼンテーションについて指導を受けました。

(1) 日程

平成23年8月4日（木）～5日（金）

(2) 訪問場所

1日目：東京大学大学院工学系研究科

2日目：日本科学未来館

(3) 参加者

SSH 課題研究選択生徒 第1学年25名および課題研究選択以外の第1学年生徒14名。合計39名
および付き添い教員4名

(4) 取組みの内容

1日目：

①東京大学大学院工学系研究科にて、研究者、大学院生、東京大学への留学生と交流し、科学研究の方法、意義、熱意等についてお話を伺いました。

（ご協力…工学系研究科・田中知教授、松島潤准教授）

②東京大学大学院工学系研究科にて、研究室、実験室を訪問し、科学の研究方法や設備、目的等について説明を受けました。

（ご協力…工学系研究科・坂田利弥准教授）

2日目：

日本科学未来館にて、展示物から学ぶとともにプレゼンテーションの研修を受け体験しました。



東京大学大学院工学系研究科・田中教授、松島准教授、大学院生・留学生との交流



東京大学大学院工学系研究科・坂田利弥准教授研究室見学



日本科学未来館・プレゼンテーションの研修

(5) 成果

参加した生徒に対するアンケートでは、この研修により学習および研究に対する関心や意欲が大いに高まったとする生徒がほとんどで、また90%以上の生徒が、自身の情報収集力・プレゼンテーション力の育成に役立ったと回答するなど、今回の研修が参加した生徒にとって意義深かったことがわかりました。

*参加した生徒の感想（抜粋）

- ・広いキャンパスの中で、あちこちから英語、中国語、その他の言語がたくさん聞こえてきて、東京大学は世界から多くの若い人が強い意欲を持って学びに来ているところだとわかりました。自分も負けないように頑張りたいです。
- ・日本科学未来館では、スタッフの方にできるだけたくさん質問をするように心がけました。スタッフの方が親切に質問に答えてくださって、「いい質問だね」と言われた時はたいへんうれしかったです。
- ・東京大学マテリアル工学科の実験装置を拝見して、金属をタンパク質と結びつけるなど、これまで全然知らなかったことばかりで驚きの連続でした。その研究が病気治療に役立っていると伺って、「科学研究は人のためにあるのだ」とあらためて感じました。